



参加者募集



平成 22 年度「地域における国際化推進フォーラム」

～若者、外国人、誰もが活躍出来る地域（東北）を目指して～

申込締切

11月26日(金)

活動の継続のために必要なもの、それは人材と資金！

東北に於ける国際協力や多文化共生などの団体、また国際理解教育／開発教育のネットワークにとって、活動の継続（第2、第3の世代への引き継ぎ（若返り））は常に課題となっており、若手の活動の実践者の増加が期待されています。このような傾向は学生団体も例外ではなく、活動の中心者が卒業した後、時には難しい局面を迎えることになります。

また東北の団体の規模も小さいため経済的な基盤も弱く、寄付や募金の額が今回の金融危機の影響で減少したこともあって、団体運営は厳しい状況となっています。このような状況の中、次世代育成にまで資金を回す余裕のない団体も少なくありません。

今回、基調講演者としてハンガー・フリー・ワールドの理事・事務局長の渡邊清孝氏を招き、自己資金力のある（1億55百万の収入のうち、4分の3を会費と寄付金が占める）ハンガー・フリー・ワールドの活動を基に、ファンドレイジングの具体的な方法、募金活動の企業への提案方法、またハンガー・フリー・ワールドのユースの活動についてもお話いただきます。

午後は3つの分科会（「若者の国際協力」「多文化共生」「開発教育／国際理解教育」）で、継続性のある活動について話を進めていく予定です。

東北6県から、活動の実践者が集まります。ぜひ、ご参加ください。

1 | 日程：12月4日（土） 10：00～17：00

場所：仙台国際センター

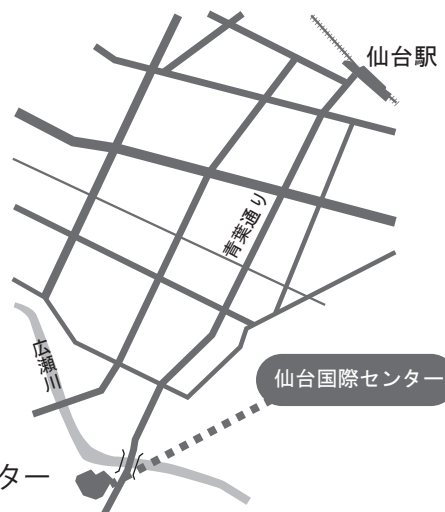
2 | 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL：022-265-2450 FAX：022-265-2485

共催：（財）自治体国際化協会 <http://www.clair.or.jp/>
（財）仙台国際交流協会、
（特活）国際ボランティアセンター山形

3 | 協力：（独）国際協力機構
後援：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、
仙台市、宮城県国際交流協会、（特活）国際協力 NGO センター

4 | 対象：東北6県の NGO、NPO、在住外国人、自治体、
国際交流協会、学生、教員、市民など

5 | 参加費：無料（会場の関係で事前申込が必要となりますので、申込用紙に記入の上、
メールかFAXでお申し込みください）



基調講演 テーマ「活動を継続させるには？ ファンドレイジングの視点から」

講演者 （特活）ハンガー・フリー・ワールド 理事、事務局長 渡邊 清孝 氏

基調講演者 渡邊 清孝 氏 プロフィール

（特活）ハンガー・フリー・ワールド 理事、事務局長（URL：<http://www.hungerfree.net/>）
1967年宮城県生まれ。1993年3月（特活）ハンガー・フリー・ワールドに入職。ファンドレイザーとして、今まで800社以上の企業・団体を訪問し、様々な社会貢献プログラムを提案・展開してきました。2002年6月理事、事務局長に就任。NPO/NGOのファンドレイジングや組織運営、危機管理研修などの講師としても全国各地で活躍しています。

問い合わせ、お申込先

裏面申込書にて、メールかFAXで下記までお申込ください。

（特活）国際ボランティアセンター山形（IVY）担当：阿部・安達

住所：山形市荒楯町1-17-40 電話：（023）634-9830 FAX（023）634-9884

URL：<http://www.ivyivy.org/> Mail：LER04525@nifty.com



■ 分科会（事例発表、グループでの話し合い）

※内容に付いては、若干の変更があるかもしれません。

第1分科会

「若者の国際協力」

活動の紹介、活動の継続性、
経済的な基盤の確立

昨年の12月に行われた「ユースフォーラム in あきた」には東北各地から国際協力活動を行っている学生が集まり、団体同士のコラボレーション、国際協力活動のコンペなどを行いました。今回も学生が中心となり分科会の企画運営を行い、新しい視点を持った団体に発表してもらいます。渡邊氏の講演をもとに、団体の組織力、資金力、継続性等について、自分たちの活動を振り返り、今後の活動の指針を話し合う予定。若者の参加を望んでいる団体の方も是非ご参加ください。

第2分科会

「多文化共生」

外国人の活動への参加、活動者の育成、団体のマネジメントの重要性

地域における多文化共生の進み方を図るには、そこに住む外国人が日本社会で就職なり社会活動への参加が出来ているかが一つの指針となりますが、東北ではどこまで進んでいるのでしょうか？ 既に東北各地で活躍中の外国人の方からも、日本で活動、仕事を行う上での困難な点、将来へ向けての展望などをお聞きする予定。外国人も巻き込んだ多文化共生の活動団体の今後、人材の育成について話し合います。

第3分科会

「開発教育・国際理解教育」

仲間（ネットワーク）作り。持続性、多様性の視点から

東北における開発教育、国際理解教育の活動は、実践する教員数の増加、研修会の内容の充実、独自の教材開発などにより、教育現場への浸透は序々に進んでいると言えます。しかし、2004年に開かれた「国際協力・国際交流実践者会議 in 仙台」の分科会のテーマでもあった「ネットワーク作り」においては、順調とは言えない地域も少なくありません。実行力、影響力、継続性のあるネットワークとはどんな組織なのかを中心に話し合っていきます。

プログラム

- 10:00 - 10:30 開会、あいさつ他
- 10:30 - 12:00 基調講演、会場との質疑応答
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 16:00 分科会
- 16:00 - 17:00 全体会、閉会

メールかFAXでIVYまでお申し込みください。LER04525@nifty.com（注：Rの後は数字の0です）FAX(023)634 9884
ホームページからもお申し込みいただけます。http://www.ivyivy.org/

平成22年度 地域における国際化推進フォーラム 参加申込書
12月4日（土曜日）10:00～17:00 於：仙台国際センター

申込締切
11月26日（金）

1 氏 名	
2 所 属 (所属官庁名、大学名、学校名など)	(部署、学部名までご記入ください)
3 団 体 名 (団体に所属の場合のみ記入)	
4 活動分野 (該当する箇所に○、複数可)	国際協力・多文化共生・開発教育／国際理解教育・国際交流・外国人生活支援・日本語支援 その他（ ）
5 活動形態 (該当する箇所に○、複数可)	NPO 法人・任意団体・学生団体・個人・その他（ ）
6 住 所	下記は、個人・団体・所属機関の住所です。 〒
7 電話番号	
8 メールアドレス(PC)	
9 携帯番号・メールアドレス	番号： メール：
10 昼食の注文※注2（500円程度）	注文 する ・ しない
希望分科会 (ご希望の分科会に○をお付けください。)	1、第1分科会（国際協力活動） 2、第2分科会（多文化共生） 3、第3分科会（開発教育・国際理解教育）

注1：国際センターには有料の駐車場がありますが台数が限られているため、なるべく公共交通機関（仙台市営バス）をお使いくださいようお願い致します。
注2：センターにはレストランがありますが混雑が予想されます。またすぐ近くに飲食店、コンビニがありませんので、ご持参いただくか、昼食の注文をお願い致します（当日、受付にてお金を徴収致します）。注3：いただいた個人情報は、本フォーラム以外には使用致しません。